

科目名	臨床検査演習 I			授業の種類	演習	講師名
授業回数	15 回	時間数	30 時間	1 単位	必修・選択	必修
						配当学年 時期
						ST1年 後期
【授業の目的・ねらい】 検査手順を習得することができる。また、検査結果の解釈と評価について理解できる。						
【実務者経験】 言語聴覚士として半田中央病院に勤務、高次脳機能障害・嚥下障害・構音障害分野でのリハビリに従事経験。						
【授業全体の内容の概要】 言語聴覚士が行う各種検査について理解できる。						
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 検査内容を把握し、手順を習得できる。 検査結果の解釈ができるようになる。						
回数	講義内容					準備物(教材)
1	検査の重要性について・ベッドサイドでの関わり					
2	HDS-R					
3	MMSE、コース立方体組み合わせテスト					
4	コース立方体組み合わせテスト、RCPM					
5	SLTA					
6	SLTA					
7	SLTA					
8	WAIS-III					
9	WAIS-III					
10	WAIS-III					
11	CAT					
12	FAB、TMT					
13	検査手順を理解し実践できる					
14	検査手順を理解し実践できる					
15	総まとめ					
定期筆記試験						
【使用教科書・教材・参考書】 『標準失語症検査マニュアル 改定2版』						
【準備学習・時間外学習】						
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は定期試験のみ実施とし、 60点以上の場合に科目を認定する。						